



Brill Online Primary Sources

ロシア軍情報部アジア関係資料

Russian Military Intelligence on Asia Online



Brill Online Primary Sources の **Russian Military Intelligence on Asia Online** は、ロシア軍情報部のアジア関係資料をデジタル化して収録し、オンラインで閲覧することを可能にしております。

19 世紀に、ロシア帝国は、アジアに対する影響力を急速に拡大しました。ナポレオン戦争の影響で、ロシアと西洋との国境が画定されていく中で、ロマノフ朝は東洋に向けてそのエネルギーを傾注したのです。帝国によるアジア進出は、情報活動の革命と相俟って、実行されました。

情報収集やその分析は、敵国の兵力や領土の分野に留まらず、政治・経済を含め包括的かつ詳細に進められました。ロシア帝国の軍事情報は、ユーラシア研究の金脈と言えます。本コレクションには、外交の過程で作られた政治報告書・日記、武官の報告書、ロシア参謀部との定例通信、その他多くの地図・図面などが収録されております。

◆知られざるロシア革命以前の東洋研究に関する卓越した研究資料をデジタル化

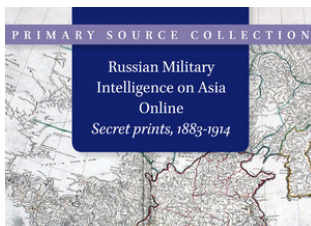
ロシア国立図書館 (サンクトペテルブルク) 所蔵機密資料

Russian Military Intelligence on Asia Online: Secret prints, 1883-1914

オンライン版同時アクセス無制限・買い切り

※本商品は **メンテナンス・フィー不要** の完全買い切りとなります

※本商品の収録文書はロシア語です



『アジアに関する地理的・地誌的資料集成』(Sbornik geograficheskikh,

topograficheskikh i statisticheskikh materiaov po Azii)は、ロシア革命以前の東洋研究に関する卓越した出版物のひとつでありながらも殆ど知られていない機密文書です。ロシアの参謀部によって 1883 年から 1914 年までに 87 巻・9 補巻で発刊された、この出版物の目的は、ロシアや西洋の探検家、官吏、学者たちによって書かれたユーラシア大陸に関する重要な研究を帝国軍司令官に広めることでした。

本コレクションの主要部分は、従来あまり知られてこなかったアジア地域への同時代の旅行家たちによって創作された報告書から構成され、多くは地理学や関連諸分野で指導を受けた将校のものでした。執筆者には、N.プルジェワルスキー、A.クロパトキン、N.エルモロフ、G.マンネルヘイム、L.コルニーロフ、Andrei Snesev らがいます。

本コレクションは、ロシア国立図書館に所蔵されている軍事機密資料をデジタル化したものであり、19 世紀アジアに関するユニークかつ殆ど手つかずの情報を提供いたします。収録される文書は「Secret」もしくは「For Internal Use Only」とされており、発行部数も非常に限定されていたことから、国外からアクセス可能な完全なコレクションは存在せず、ロシアの主要図書館の所蔵にも欠落がみられるものです。

無料トライアル実施中!! 詳細は弊社までお申し付けください

日本販売代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp



◆19 世紀ロシア帝国の軍情報部による同時代の極東アジア、中東、中央アジア研究資料

ロシア国立軍事史文書館所蔵資料 1651~1917 年

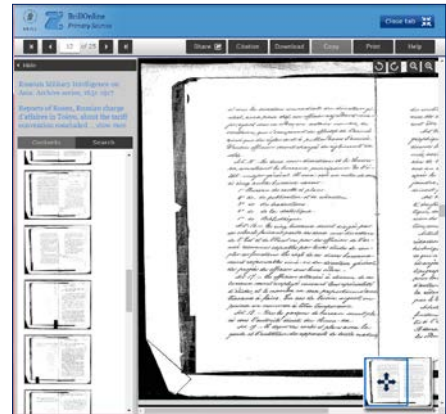
Russian Military Intelligence on Asia Online: Archive series, 1651-1917

オンライン版同時アクセス無制限・買い切り
※本商品は**メンテナンス・フィー不要**の完全買い切りとなります
※本商品の収録文書はロシア語です

1. A threat from the Far East (China, Japan, Korea)

極東の脅威:中国、日本、朝鮮

ロシア帝国は中国との戦争を公式にしたわけではありませんが、19 世紀の清朝の衰退に伴って、隣接する広大な極東地域に関心を強く示すようになりました。また中国研究をするにあたり、直接国境を接することもあって、ヨーロッパ諸国よりも有利な立場にあったとも言えます。本コレクションは、アムール川・ウスリー江地域の併合、イリ事件 Ili Crisis、清露同盟、満州における利権などに関する、軍事的、政治的、経済的、民族誌的、地理学的価値ある一次資料を提供します。



2. The Eastern question (Turkey, Palestine, Arabia & Syria)

東方問題:トルコ、パレスチナ、アラビア、シリア

18 世紀以降、ロシア帝国は何度もトルコと対立しました。その紛争の一つが、クリミア戦争です。ヴィクトリア時代のイギリス人に「東方問題」として理解される、この対決は、数ある大国同士の紛争の一つの特徴を示しています。ロシアの参謀部は、オスマン帝国に関する膨大な量のデータを集積しました。本コレクションは、バルカン半島やほかの地域の民族主義運動、トルコ政治、イギリスの影響力、トルコ軍の組織と状態、ボスフォラス・ダーダネルス両海峡の防衛についての機密書類や外交文書を収録します。

3. The Great Game in Central Asia (Persia (Iran), Afghanistan)

中央アジアのグレート・ゲーム:ペルシア(イラン)、アフガニスタン

18~19 世紀には、ロシア帝国は4 度ペルシアと戦争しました。ロシア皇帝の野望は主に、コーカサスに向けられていたのです。イギリス政府は、「グレート・ゲーム」と呼ばれる、ロシアとの中央アジアを巡る支配権競争の発展を危惧するようになりました。本コレクションは、約 200 枚の地図や、この間の政治、経済、軍事的展開の調査、アルメニアの分離主義運動、ロシアの対ペルシア軍事支援などの資料を収録します。



※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください

**Brill Online Primary Sources では各種一次資料をオンラインで提供
詳細お問い合わせは弊社までお申し付けください**



株式会社 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp